

シヨパンの祖国で偉業紹介

伊丹出身ピアニスト西水さん

伊丹市出身でポーランド在住のピアニスト西水佳代さん(55)が、現地の小学生にシヨパン(1810~49年)の名曲を聞かせるコンサートが続いている。祖国が生んだ偉人の魅力を身近に知ってもらおうと、作品が創作された背景や生い立ちについての講話を挟みながら演奏。教師らにも好評という。「シヨパンの音楽が日本はもちろん世界中で親しまれていることを伝えたい」と話す。

(津谷治英)



子どもたちと談笑する西水佳代さん＝いずれもポーランド・プルシュクフ市

在住のポーランドで毎年演奏会 講話もセット、名曲の背景伝える

児童向け

スライドを使ってシヨパンについて講話する西水さん

西水さんは幼少のころからピアノを始め、大阪の高校、大学を卒業。1987年、ポーランドのワルシャワ音楽アカデミーの研究科に留学した。4年後に現地の音楽家と結婚、3男1女に恵まれた。

子育てなどで演奏活動を控えていたが、2004年から本格的に再開。シヨパンの誕生日と命日の年2回公演する「全曲演奏コンサート」に8年間取り組んだ。全曲収録のCDアルバム集制作を続けており、これまでに6巻をリリースした。日本でも東京、大阪、伊丹で公演してきた。

小学生向け演奏会は10年から毎年春、西水さんが住むプルシュクフ市で開く。10年はシヨパン生誕200年にあたり、関連イベントが盛んに行われおり、市長から演奏会を依頼され、引き受けた。シヨパンだけでなくチャイコフスキー、ムソルグスキーなどを取り上げた年もあり、今年で10回目となる。

講話はスライドを使って、名曲誕生の背景にポーランドの歴史が深く関わっていることなどを伝える。今年は「子犬のワルツ」といった親しみやすい曲のほか、「英雄ポロネーズ」など著名な曲も選んだ。

「私自身が言葉、習慣、文化を学びながらシヨパンの深さを知った。日本人だからこそ伝えられる面がある。これからもそんな気持ちで演奏を続けたい」と抱負を語った。

10月12日から神戸市中央区の兵庫県立美術館ギャラリー棟で「シヨパン〜200年の肖像」展(神戸新聞社、サンテレビなど主催)が開かれ、シヨパンの自筆譜などが展示される。関連イベントとして同12~14日には西水さんのコンサートが予定されている。

